Creative Enzymes®

ネイティブ セルロモナス属グリセロール脱水素酵素

Cat. No. NATE-0283

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	グリセロール脱水素酵素は、NAD+を利用してグリセロールの酸化を触媒し、グリセオン（ジヒドロキシアセトン）を形成する酸化還元酵素ファミリーの酵素です。
用途	この酵素は、臨床分析においてリポプロテインリパーゼと結合することで、グリセロールおよびトリグリセリドの酵素的測定に役立ちます。グリセロールとNAD+の反□からNADHの生成は、グリセロール脱水素酵素によって触媒されました。
別名	EC 1.1.1.6; NAD+結合グリセロール脱水素酵素; グリセロール:NAD+ 2-酸化還元酵素; GDH; GlDH; GlyDH; 9028-14-2; グリセリン脱水素酵素

製品情報

由来	セルロモナス属
形態	牛血清アルブミンを含む凍結乾燥粉末
***EC*番号**	EC 1.1.1.6
***CAS*登□番号**	9028-14-2
分子量	mol wt ~390 kDa
活性	50-125 ユニット/mg タンパク質
等電点	4.4 ± 0.1
***pH*安定性**	pH 7.5 – 10.5 (25°C, 20時間)
最適pH	10.0 – 10.5
熱安定性	55°C未□（pH 7.5、15分）
最適温度	50°C
ミカエリス定数	1.1 x 10¯2M (グリセロール), 8.9 x 10¯5M (NAD+)
構造	酵素1モルあたり10サブユニット（42 kDa）
阻害剤	p-クロロ水銀ベンゾエート、o-フェナントロリン、モノヨードアセテート、重金属イオン（Co++、Ni++、Cu++、Zn++、Cd++）
単位定義	1ユニットは、25°C、pH 10.0で1分あたり1.0μモルのグリセロールをジヒドロキシアセトンに酸化します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C